

平成23年度 決算報告書  
(第8期)

国立大学法人鳥取大学  
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	11,723	11,723	-	
施設整備費補助金	47	35	11	(注 1)
補助金等収入	403	904	501	(注 2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	74	74	-	
自己収入	21,551	22,061	510	
授業料、入学金及び検定料収入	3,692	3,681	11	(注 3)
附属病院収入	17,488	17,921	433	(注 4)
雑収入	371	458	87	(注 5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,531	1,863	332	(注 6)
長期借入金	1,261	873	387	(注 7)
目的積立金取崩	379	78	300	(注 8)
計	36,969	37,613	645	
支出				
業務費	31,433	30,542	891	
教育研究経費	15,239	14,592	647	(注 9)
診療経費	16,194	15,950	243	(注 10)
施設整備費	1,382	983	399	(注 11)
補助金等	403	899	496	(注 12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,531	1,612	81	(注 13)
長期借入金償還金	2,220	2,215	4	(注 14)
計	36,969	36,251	717	
収入-支出	-	1,361	1,361	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 施設整備費補助金については、事業計画が変更されたことにより、予算金額に比して決算金額が11百万円少額となっています。
- (注 2) 補助金等収入については、予算額に計上していなかった補助金の受入により予算金額に比して決算金額が501百万円多額となっています。
- (注 3) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料・入学金が減少したことから、予算金額に比して決算金額が11百万円少額となっています。
- (注 4) 附属病院収入については、外来化学療法の増加等による増収及び入院単価の増による増収の影響により予算金額に比して決算金額が433百万円多額となっています。
- (注 5) 雑収入については、主として科学研究費間接経費収入の増加により予算金額に比して決算金額が87百万円多額となっています。
- (注 6) 予算段階では予定していなかった民間等からの寄附金、受託・共同研究の獲得に努めたため、予算金額に比して332百万円決算金額が多額となっています。
- (注 7) 長期借入金については、事業計画の変更による借入額の減少により予算金額に比して決算金額が387百万円少額となっています。
- (注 8) 目的積立金取崩については、執行計画を見直したことにより予算金額に比して決算金額が300百万円少額となっております。
- (注 9) 教育研究経費については、経費の節減、人件費の抑制を行ったことにより、予算金額に比して決算金額が647百万円少額となっています。
- (注 10) 診療経費については、(注 8)で示した目的積立金の変更計画が全て診療経費に関わるものであるため、その影響により予算金額に比して決算金額が243百万円少額となっています。
- (注 11) (注 1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が399百万円少額となっています。

- (注12) (注2) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が496百万円多額となっています。
- (注13) (注6) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が81百万円多額となっています。
- (注14) 長期借入金については、金利変更等償還計画の変更により予算金額に比して決算金額が4百万円少額となっています。

○「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前年度よりの繰越額からの使用額110百万円。

○決算額と損益計算書上の計上額との差異について

教育研究経費、診療経費の決算額と損益計算書上の計上額との差の主なものは、固定資産取得に関わる支出であります。